

鉄軌道駅の段差への対応状況

平成16年3月31日現在

事業者名	総駅数	1日あたりの平均利用者数が5千人以上の駅数	段差を解消している (移動円滑化基準第4条に適合している)駅数		
			うち5千人以上の駅数	5千人以上の駅に対する割合(%)	
JR北海道	472	29	25	14	48%
JR東日本	1,685	469	220	188	40%
JR東海	398	83	59	32	39%
JR西日本	1,214	281	246	111	40%
JR四国	258	7	24	3	43%
JR九州	552	62	51	27	44%
JR旅客会社6社 小計	4,579	931	625	375	40%
東武鉄道	197	111	28	23	21%
西武鉄道	89	74	30	28	38%
京成電鉄	64	47	21	20	43%
京王電鉄	68	64	26	25	39%
小田急電鉄	69	67	59	59	88%
東京急行電鉄	86	86	72	72	84%
京浜急行電鉄	71	70	22	22	31%
相模鉄道	24	23	13	12	52%
名古屋鉄道	305	72	40	18	25%
近畿日本鉄道	325	123	85	49	40%
南海電鉄	116	52	23	19	37%
京阪電鉄	84	57	33	26	46%
阪急電鉄	84	81	46	46	57%
阪神電鉄	41	34	25	21	62%
西日本鉄道	80	23	13	11	48%
大手民鉄15社 小計	1,703	984	536	451	46%
東京地下鉄	139	139	12	12	9%
札幌市	46	46	9	9	20%
仙台市	17	16	17	16	100%
東京都	97	95	11	11	12%
横浜市	32	30	22	20	67%
名古屋市	78	72	38	34	47%
京都市	27	25	27	25	100%
大阪市	99	95	79	75	79%
神戸市	26	21	23	18	86%
福岡市	19	18	19	18	100%
地下鉄10社局 小計	580	557	257	238	43%
JR、大手民鉄、地下鉄 小計	6,862	2,472	1,418	1,064	43%
中小民鉄、路面電車 小計	2,682	263	582	136	52%
鉄軌道全体 合計	9,544	2,735	2,000	1,200	(39%) 44%

注) 1. 新幹線が乗り入れている在来線の駅であって、在来線の駅を管理する事業者が新幹線の駅も管理する場合、当該在来線の駅に新幹線の駅も含み全体で1駅として計上している。新幹線の駅と在来線の駅を別々の事業者が管理する場合は、別駅として計上している。

2. 2以上の事業者の路線が乗り入れる駅であって、事業者間の乗換改札口が設けられておらず、改札内で相互乗換えができる場合は、全ての事業者の駅を含めて全体で1駅として計上している。この場合、代表して1事業者に当該駅を計上している。

3. ()内は平成14年度末の数値。